

平成27年5月14日

都内私立中学高等学校
校 長
教 務 担 当 教 諭 殿
関 係 教 職 員

一般財団法人 東京私立中学高等学校協会
会 長 近 藤 彰 郎
東京私学教育研究所長 清 水 哲 雄
教務運営研究会委員長 小坂部 好 史
(共催：公益財団法人東京都私学財団)

教務運営研究会「講演会」のご案内

－ 協働学習をどう日常の学校・授業に取り入れるか －

青葉の候、先生方におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

昨年11月の中央教育審議会で、主体的・協働的に学ぶ学習（いわゆる「アクティブ・ラーニング」）や、そのための指導の方法等を充実させていく必要性が取り上げられて以来、協働学習を取り入れる検討や取り組みがこれまでより活発に行われていることと存じます。今回は、東京大学大学院教育学研究科教授の小国喜弘先生をお迎えし、協働学習のあり方や注意すべき点などについてご講演いただきます。先生方の授業に大変参考になることと存じます。お誘い合わせのうえ是非ご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成27年6月25日（木）18:00～20:00（質疑応答を含む）
2. 会 場 アルカディア市ヶ谷（私学会館）会議室 千代田区九段北4-2-25 TEL 03(3261)9921（代）
※ 裏面案内図をご参照ください。
3. 講 師 小国 喜弘 先生 博士（教育学） 東京大学大学院教育学研究科教授
【プロフィール】
博士（教育学）。東京大学大学院教育学研究科教授。東京大学にて佐藤学先生の研究室で学んだあと、成城大学専任講師、東京都立大学（現首都大学東京）助教授、早稲田大学教授を経て現職。主著に『民俗学運動と学校教育』（東京大学出版会）、『戦後教育のなかの<国民>』（吉川弘文館）など。
4. 内 容 現在、21世紀型学力など様々な表現において協働学習を学校教育に取り入れることの重要性が言われています。協働学習とはいかなるものと考えらるべきなのか、それを実際の学校（教育）に取り入れる際に何を注意する必要があるのかについて（さらに受験教育との対応をどう考えればいいのかなども含めて）、お話しいただきます。

5. 定 員 約70名 (申し込み順⇒定員になり次第締め切ります。)

6. 参加費 無 料 (当協会会員各校の拠出金と(公財)東京都私学財団からの補助金で運営しております)

7. 申込方法 6月18日(木)までに下記宛に Web もしくは FAX にてお申込みください。

URL [http:// k.tokyoshigaku.com](http://k.tokyoshigaku.com)

東京私学教育研究所 教務運営研究会 担当：荒井・岡沢

TEL 03-3263-0544 FAX 03-3263-0560

《案内図》



■交通のご案内



地下鉄 有楽町線・南北線
市ヶ谷駅 (1またはA1) 出口



地下鉄 新宿線
市ヶ谷駅 (A4またはA1) 出口



JR中央線(各駅停車) 市ヶ谷駅

上記改札・出口から徒歩約2分

切り取らずにそのままFAXしてください。送り状は不要です。

教務運営研究会「講演会」参加申込書 [6月25日(木)実施]

学 校 名	氏 名 (ふりがな)

上記の通り参加申し込みいたします。

東京私学教育研究所 御中

平成27年 月 日

校 長 _____ (印)

※FAX受理、受付完了等の連絡は省略いたします。(本申込書をお送りいただいた時点で受付完了です)
申込確認が必要な方は、下記にご記入ください。後日、申込書受理書をFAXでお送りします。

・希望する

理由等	FAX番号:
-----	--------